2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　ベイシス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　4068　　ＵＲＬ　https://www.basis-corp.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）吉村　公孝
問合せ先責任者　（役職名）取締役ＣＦＯ　　（氏名）今井　未来也　　ＴＥＬ　03(6435)9907

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	2,105	9.7	△54	－	△55	－	△46	－
2026年６月期第１四半期	1,919	1.2	5	△63.2	5	△45.3	1	△61.9

（注）包括利益　2027年６月期第１四半期　△46百万円（－%）　2026年６月期第１四半期　1百万円（△61.9%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	△25.51	－
2026年６月期第１四半期	0.89	0.89

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	3,971	2,108	52.3
2026年６月期	3,813	2,144	55.6

（参考）自己資本　2027年６月期第１四半期　2,076百万円　2026年６月期　2,120百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2027年６月期	－				
2027年６月期（予想）		0.00	－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	4,646	11.7	28	△76.2	25	△78.1	13	△81.4	7.07
通期	9,909	17.6	329	52.4	324	53.9	194	72.3	105.57

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規　1社　（社名）株式会社日本電気安全協会　　除外　−社　（社名）−

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．７「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項　（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	1,889,679株	2026年６月期	1,889,679株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	49,182株	2026年６月期	49,182株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	1,840,497株	2026年６月期１Ｑ	1,863,178株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料のＰ．３「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更） …… 7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間（2026年７月１日～2026年９月30日）におけるわが国の経済は、雇用や所得環境の改善などにより緩やかな回復基調が続いているものの、米国の通商政策の動向および中東情勢の緊迫化に起因する景気の下振れリスクに加え、継続的な物価上昇による個人消費の減速懸念などもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループは、2030年６月期を最終年度とする『中期経営計画2030』の初年度として、「５つの重点戦略」の実行に向けた取り組みを進めてまいりました。当第１四半期連結累計期間は、全てのサービスで増収となった一方、ネットワークサービスの一部案件における追加原価の発生や予算外のM&A関連費用の計上により、営業損失となりました。また、中期経営計画2030で掲げたM&A戦略の第一弾として、株式会社日本電気安全協会を完全子会社化いたしました。サービス別の概況は以下のとおりであります。

IoTサービスにおいては、ガスメーターの交換を含むスマートメーター・テナントメーターの設置工事が堅調に推移したことから、増収となりました。また、保守案件等の収益性の高い案件の寄与や、外部に委託していた作業の内製化による外注費の削減により、売上総利益率は前年同期を上回りました。

ネットワークサービスにおいては、教育機関向けの大型Wi-Fi工事案件の検収や、通信キャリア向けの現地調査・電波測定案件の売上計上により、増収となりました。一方、通信キャリア向け点検業務におけるイレギュラー対応や、上記Wi-Fi工事案件における現場対応の追加に伴い原価が増加したことから、売上総利益率は前年同期を下回りました。なお、追加原価の主な要因となった案件は、当第１四半期連結累計期間中に完了しております。

SaaSサービスにおいては、当社が自社開発する現場作業DXクラウド「BLAS（ブラス）」について、既存のIoTサービスの取引顧客を中心に有償導入が進み、清掃業・不動産管理業など新たな業種への展開も進んだことに加え、既存顧客へのオプション機能の追加が進んだことから、売上高は大きく増加いたしました。

利益面につきましては、ネットワークサービスにおける上記の追加原価の発生により、売上総利益率が低下し、売上総利益は前年同期並みにとどまりました。一方、販売費及び一般管理費は、AX推進・ブランディング等の成長投資に加え、予算外のM&A関連費用約29百万円の発生により前年同期から増加したことから、営業損失を計上いたしました。なお、販売費及び一般管理費は、その他の費用の抑制によりM&A関連費用の発生分を吸収し、概ね予算どおりの水準となっております。

また、2026年９月30日付で、キュービクル（高圧受変電設備）の保安管理業務・改修工事を主な事業とする株式会社日本電気安全協会の全株式を取得し、完全子会社化いたしました。同社が有するキュービクルの保安管理業務に関する専門性・現場対応力と、当社がこれまで培ってきたIoT技術およびデータ活用ノウハウを組み合わせるとともに、両社の顧客基盤を相互に活用したクロスセルや「BLAS」の活用を進めてまいります。なお、株式の取得日が当第１四半期連結会計期間末であるため、当第１四半期連結会計期間末においては貸借対照表のみを連結しており、当第１四半期連結累計期間の連結損益計算書には同社の業績は含まれておりません。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,105百万円（前年同期比9.7%増）、営業損失54百万円（前年同期は営業利益5百万円）、経常損失55百万円（前年同期は経常利益5百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失46百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1百万円）となりました。

なお、当社はインフラテック事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しておりますが、サービス別の売上内訳といたしましては、IoTサービス744百万円（前年同期比13.7%増）、ネットワークサービス1,349百万円（前年同期比7.1%増）、及びSaaSサービス12百万円（前年同期比186.8%増）となっております。また、当第１四半期連結会計期間より、提供サービスの実態に基づき、サービス区分を従来の「IoTエンジニアリングサービス」「モバイルエンジニアリングサービス」「その他」から、「IoTサービス」「ネットワークサービス」「SaaSサービス」に変更しており、前年同期比は変更後の区分に組み替えた数値で比較しております。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は、3,061百万円で前連結会計年度末に比べ13百万円の増加となりました。これは主に売掛金の増加47百万円及び仕掛品の増加23百万円が、現金及び預金の減少54百万円を上回ったことによるものであります。固定資産は、910百万円で前連結会計年度末に比べて143百万円増加いたしました。これは主に、新規連結に伴いのれんを暫定的に80百万円計上したことによるものであります。この結果資産合計は、3,971百万円となり、前連結会計年度末に比べ157百万円増加いたしました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債合計は、1,559百万円で前連結会計年度末に比べ159百万円の増加となりました。これは主に短期借入金の増加200百万円によるものであります。固定負債は、303百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円の増加となりました。これは主に、新規連結に伴い役員退職慰労引当金が29百万円増加したことによるものであります。この結果負債合計は、1,862百万円となり、前連結会計年度末に比べ193百万円増加いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産は、2,108百万円で前連結会計年度末に比べ36百万円の減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上46百万円に伴い利益剰余金が減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は52.3%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第２四半期（累計）及び2027年６月期の通期の業績予想につきましては、2026年８月14日付の決算短信において発表いたしました業績予想から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	857,334	802,399
売掛金	1,786,643	1,833,692
仕掛品	333,543	356,953
前払費用	69,788	65,259
貸倒引当金	－	△121
その他	238	3,041
流動資産合計	3,047,548	3,061,224
固定資産		
有形固定資産		
建物	186,548	186,548
減価償却累計額	△41,191	△44,378
建物（純額）	145,357	142,170
車両運搬具	－	7,661
減価償却累計額	－	△4,622
車両運搬具（純額）	－	3,039
工具、器具及び備品	46,537	66,370
減価償却累計額	△31,257	△34,139
工具、器具及び備品（純額）	15,280	32,231
有形固定資産合計	160,637	177,441
無形固定資産		
のれん	68,213	145,949
顧客関連資産	153,500	150,187
ソフトウエア	91,930	86,375
ソフトウエア仮勘定	11,652	15,103
無形固定資産合計	325,297	397,617
投資その他の資産		
投資有価証券	32,510	47,060
繰延税金資産	36,278	72,184
保険積立金	107,820	109,940
その他	103,781	106,074
投資その他の資産合計	280,390	335,260
固定資産合計	766,326	910,319
資産合計	3,813,875	3,971,543

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年６月30日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	410,942	377,878
短期借入金	300,000	500,000
１年内返済予定の長期借入金	45,000	45,000
未払金	124,096	114,670
未払費用	253,849	252,704
未払法人税等	61,388	12,126
前受金	726	28,785
賞与引当金	137,755	71,166
預り金	20,404	49,363
株主優待引当金	11,047	11,047
その他	34,200	96,369
流動負債合計	1,399,412	1,559,112
固定負債		
長期借入金	153,750	142,500
退職給付に係る負債	11,509	11,321
役員退職慰労引当金	－	29,234
資産除去債務	63,694	63,970
繰延税金負債	40,617	56,673
固定負債合計	269,571	303,698
負債合計	1,668,984	1,862,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	339,909	339,909
資本剰余金	290,709	290,709
利益剰余金	1,563,440	1,516,486
自己株式	△75,143	△75,143
株主資本合計	2,118,915	2,071,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,260	4,681
その他の包括利益累計額合計	1,260	4,681
新株予約権	24,715	32,089
純資産合計	2,144,891	2,108,732
負債純資産合計	3,813,875	3,971,543

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自2025年７月１日 至2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自2026年７月１日 至2026年９月30日）
売上高	1,919,434	2,105,872
売上原価	1,477,182	1,662,001
売上総利益	442,251	443,870
販売費及び一般管理費	436,567	498,224
営業利益又は営業損失（△）	5,684	△54,354
営業外収益		
受取利息	732	1,207
受取保険金	5	－
その他	477	280
営業外収益合計	1,215	1,488
営業外費用		
支払利息	1,578	2,800
株式交付費	90	－
その他	82	△10
営業外費用合計	1,750	2,789
経常利益又は経常損失（△）	5,149	△55,655
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	5,149	△55,655
法人税等	3,496	△8,702
四半期純利益又は四半期純損失（△）	1,653	△46,953
（内訳）		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	1,653	△46,953
非支配株主に帰属する四半期純利益	－	－
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	－	－
四半期包括利益	1,653	△46,953
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,653	△46,953
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

(1)連結の範囲の重要な変更

当第１四半期連結会計期間より、株式会社日本電気安全協会の100%の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2)持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2025年７月１日　至　2025年９月30日）

当社はインフラテック事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2026年７月１日　至　2026年９月30日）

当社はインフラテック事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自2025年７月１日 至2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自2026年７月１日 至2026年９月30日）
減価償却費	15,856千円	15,606千円
のれん償却額	3,148	3,148